



2024年3月期 通期
決算説明資料

 **かどや製油株式会社**

2024年6月5日

1

本日のハイライト

代表取締役社長 久米 敦司

2

2024年3月期 通期実績

執行役員 管理本部長 高野 純平

3

中期経営計画の取り組み状況（含・2025年3月期 通期業績見通し）

執行役員 経営企画部長 北川 淳一



1

本日のハイライト

代表取締役社長 久米 敦司

2

2024年3月期 通期実績

執行役員 管理本部長 高野 純平

3

中期経営計画への取り組み状況（含・2025年3月期 通期業績見通し）

執行役員 経営企画部長 北川 淳一

2024年3月期(FY23)決算は、堅調に推移

原料価格高騰等による厳しい事業環境において、製品の適正価格確保に注力。
連結売上高はFY22比5.9%増の357億円、経常利益は同5.5%増の34億円で着地。

2025年3月期(FY24)は、マーケティング投資を再活性化

円安や市況高止まりによる原料仕入コスト増など、引き続き厳しい事業環境が続くが、
今期は当社のプレゼンスを維持・拡大すべく、マーケティング投資を再活性化する方針。
連結売上高は前期比7.9%増の385億円、経常利益は同23.7%減の26億円。

見直し中経の達成に向けた施策は着実に進行

組織体制を見直し、副産物の高付加価値化や新規商品開発を加速。

1

本日のハイライト

代表取締役社長 久米 敦司

2

2024年3月期 通期実績

執行役員 管理本部長 高野 純平

3

中期経営計画の取り組み状況（含・2025年3月期 通期業績見通し）

執行役員 経営企画部長 北川 淳一

連結実績の概況

製造経費の削減を実現したものの、原料相場上昇の影響を受け売上原価は前年同期比8%増に。厳しい事業環境の中、販管費を昨年同期比1.9%減少させつつ、適正価格の確保に注力した。
 (売上高：昨年同期比5.9%増の356億円／経常利益：昨年同期比5.5%増の34億円)

	(百万円)	2023年3月期	2024年3月期		(ご参考) 2024年3月期		
		通期実績	通期実績	前年同期比		Q4実績	前年同期比
連結業績	売上高	33,690	35,680	+1,990	+5.9%	8,601	+462
	営業利益	2,914	3,117	+202	+6.9%	269	+267
	営業利益率	8.6%	8.7%	-	+0.1%	3.1%	+3.1%
	経常利益	3,229	3,409	+179	+5.5%	342	+319
	経常利益率	9.5%	9.5%	-	±0	3.9%	+3.7%
	当期純利益	2,219	2,255	+36	+1.6%	192	+179
	当期純利益率	6.5%	6.3%	-	▲0.2%	2.2%	+2.0%

セグメント別実績の概況

ごま油事業／食品ごま事業ともに増収増益。

(百万円)		2023年3月期	2024年3月期		(ご参考) 2024年3月期		
		通期実績	通期実績	前年同期比		Q4実績	前年同期比
ごま油	売上高	25,925	27,648	+1,723	+6.6%	6,761	+385
	営業利益	2,711	2,785	+74	+2.7%	329	+221
	営業利益率	10.5%	10.1%	-	▲0.4%	4.9%	+3.2%

(百万円)		2023年3月期	2024年3月期		(ご参考) 2024年3月期		
		通期実績	通期実績	前年同期比		Q4実績	前年同期比
食品ごま	売上高	7,628	7,896	+268	+3.5%	1,819	+83
	営業利益	128	260	+132	+103.1%	▲72	+48
	営業利益率	1.7%	3.3%	-	+1.6%	▲4.0%	▲1.4%

※ 上記のほかに商品仕入関連事業あり（売上高： 23年3月期136百万円 / 24年3月期135百万円）

ごま油事業の概況

国内：製品価格の適正化確保に努めた結果、販売数量は家庭用が9%減・業務用が6%減。

輸出：北米市場の成長を着実に取り込み、販売数量は昨年比13%増・売上高は同19%増。

(トン/百万円)		2023年3月期		2024年3月期		前年同期比			
		数量	売上高	数量	売上高	数量	数量	売上高	売上高
国内	家庭用	9,459	10,285	8,608	10,075	▲851	▲8.9%	▲210	▲2.0%
	業務用	13,115	8,189	12,303	9,043	▲811	▲6.1%	+853	+10.4%
海外	輸出用	5,754	5,950	6,481	7,110	+727	+12.6%	+1,159	+19.4%

食品ごま事業の概況

かどや製油／カタギ食品ともに製品適正価格の確保に努めた結果、販売量は前年比6%減少したが、売上高は昨年を上回った。

(トン/百万円)	2023年3月期		2024年3月期		前年同期比			
	数量	売上高	数量	売上高	数量	数量	売上高	売上高
かどや製油	8,678	4,441	8,115	4,468	▲563	▲6.4%	+27	+0.6%
カタギ食品	4,220	3,184	3,994	3,428	▲228	▲5.3%	+244	+7.6%

1

本日のハイライト

代表取締役社長 久米 敦司

2

2024年3月期 通期実績

執行役員 管理本部長 高野 純平

3

中期経営計画の取り組み状況（含・2025年3月期 通期業績見通し）

執行役員 経営企画部長 北川 淳一

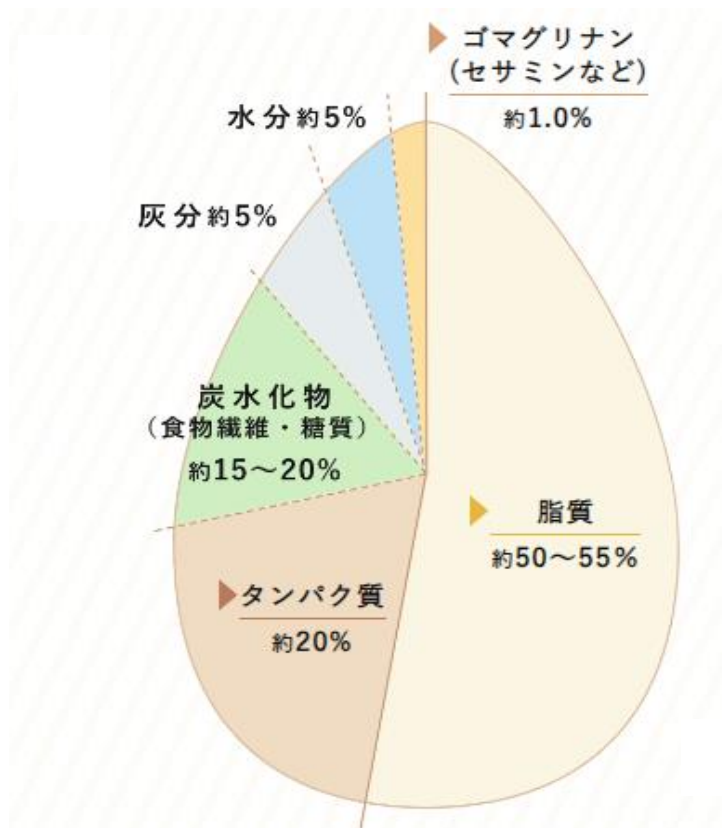
2025年3月期 業績見通し

原料高止まりや円安傾向など厳しい事業環境が継続することから、引き続き製品価格の適正化に取り組む。同時に「カテゴリーNO.1」としてのプレゼンスを維持・強化すべくマーケティング投資の再活性化を行う。

		2024年3月期		2025年3月期		
		(百万円)	通期実績	通期見通し	前年同期比	
連結業績	売上高		35,680	38,500	+2,820	+7.9%
	営業利益		3,117	2,500	▲617	▲19.7%
	営業利益率		8.7%	6.4%	—	▲2.3%
	経常利益		3,409	2,600	▲809	▲23.7%
	経常利益率		9.5%	6.7%	—	▲2.8%
	当期純利益		2,255	2,000	▲255	▲11.3%
	当期純利益率		6.3%	5.1%	—	▲1.2%

脱脂ごまを利活用した加工食品等の商品化実現に向け、複数のパートナー候補企業様との協議を開始。

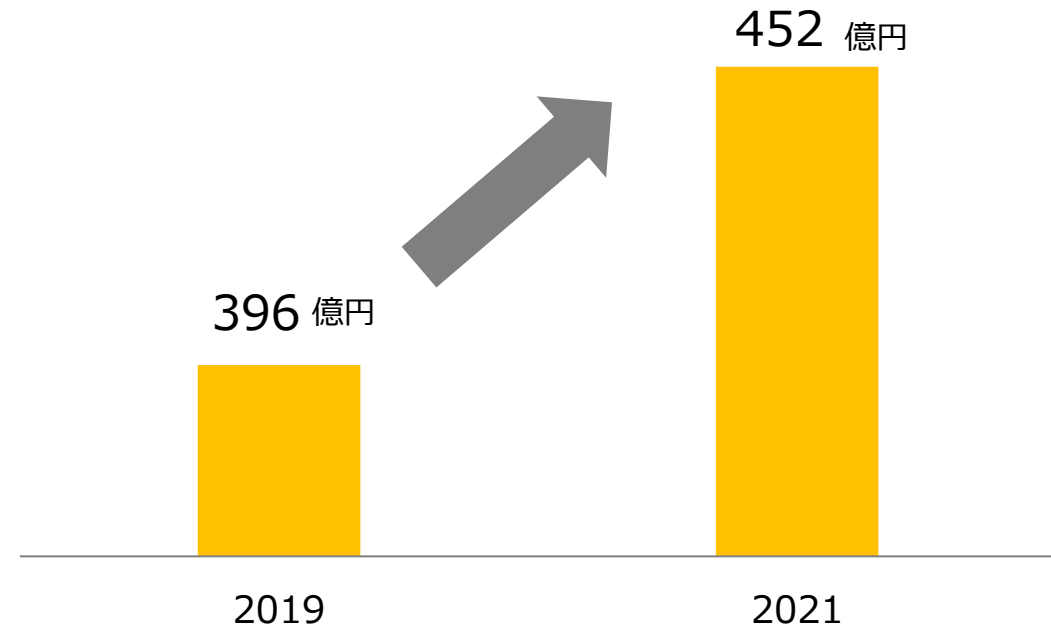
ゴマに含まれる栄養



出所：日本食品標準成分法（八訂）より作成

植物性たんぱく素材の需要は増加傾向

国内植物性たんぱく素材市場規模の推移



出所：TPCビブリアリック <https://www.tpc-osaka.com/c/food/mr110210570>

生活者と直接つながるコミュニティ「ごまラボ」の運営を通じ、「ファン作り」を継続的に実施。
D2C事業のセサミウェブと合わせ会員数5万人を突破。事業の更なる成長に向け今月末に新商品を投入。



みんなとおいしくつながるコミュニティ



みんなで創る



楽しむ



読む

アフリカのごま栽培農家を支援する取り組みを発信



ごまを使ったレシピなど楽しみ方のアイデアを交換

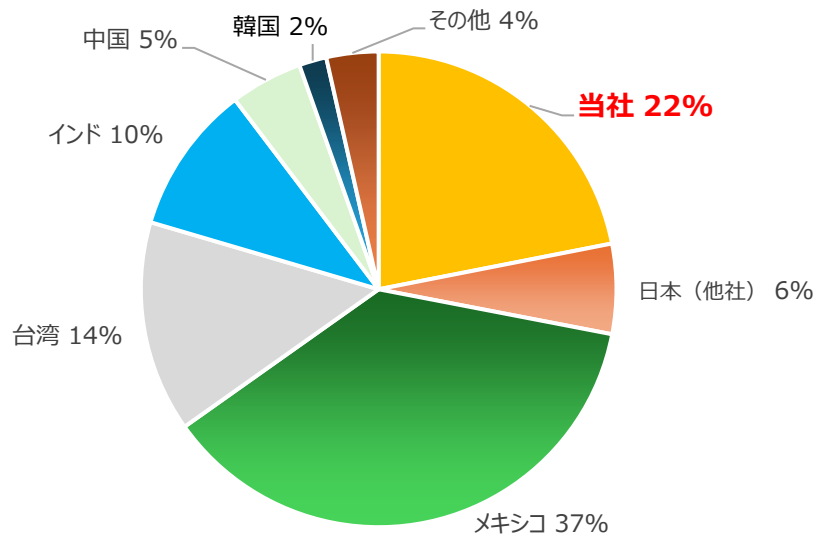


2024年6月下旬、新商品「DHA&EPA + ごまセサミンプレミアム」上市予定



加工食品メーカー等への販売拡大を視野に、米国で委託充填スキームの実証実験を開始。

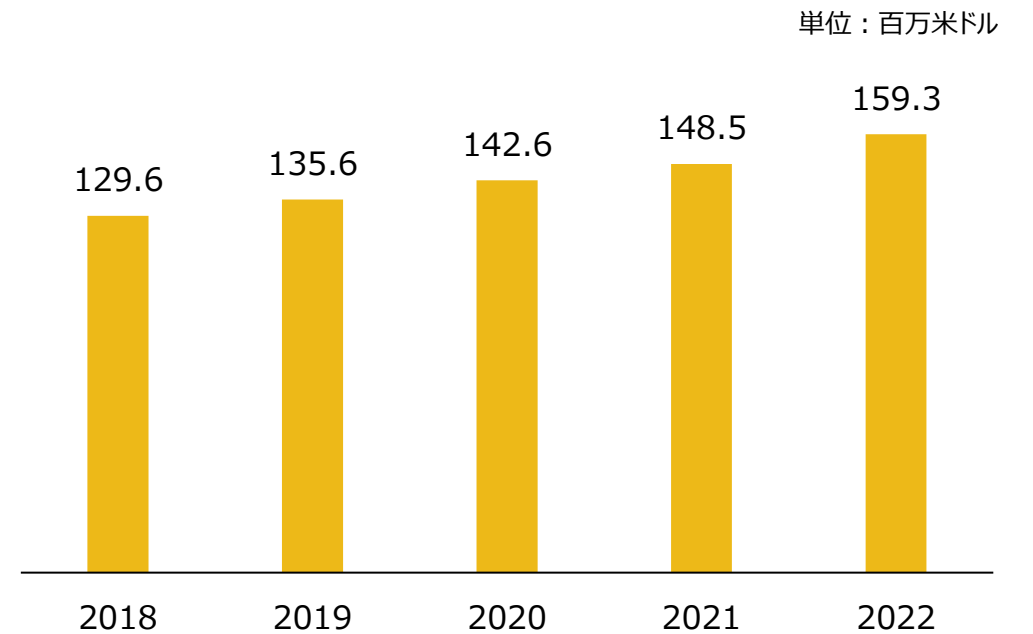
米国ごま油市場全体における当社のシェア *



出所：Global Trade Atlasをもとに当社作成
(2023年1月～12月分データ)

* 当社が認識する限り米国にはごま油製造メーカーは略存在しておらず、市場は日本・メキシコ・台湾等からの輸入品で構成されています。

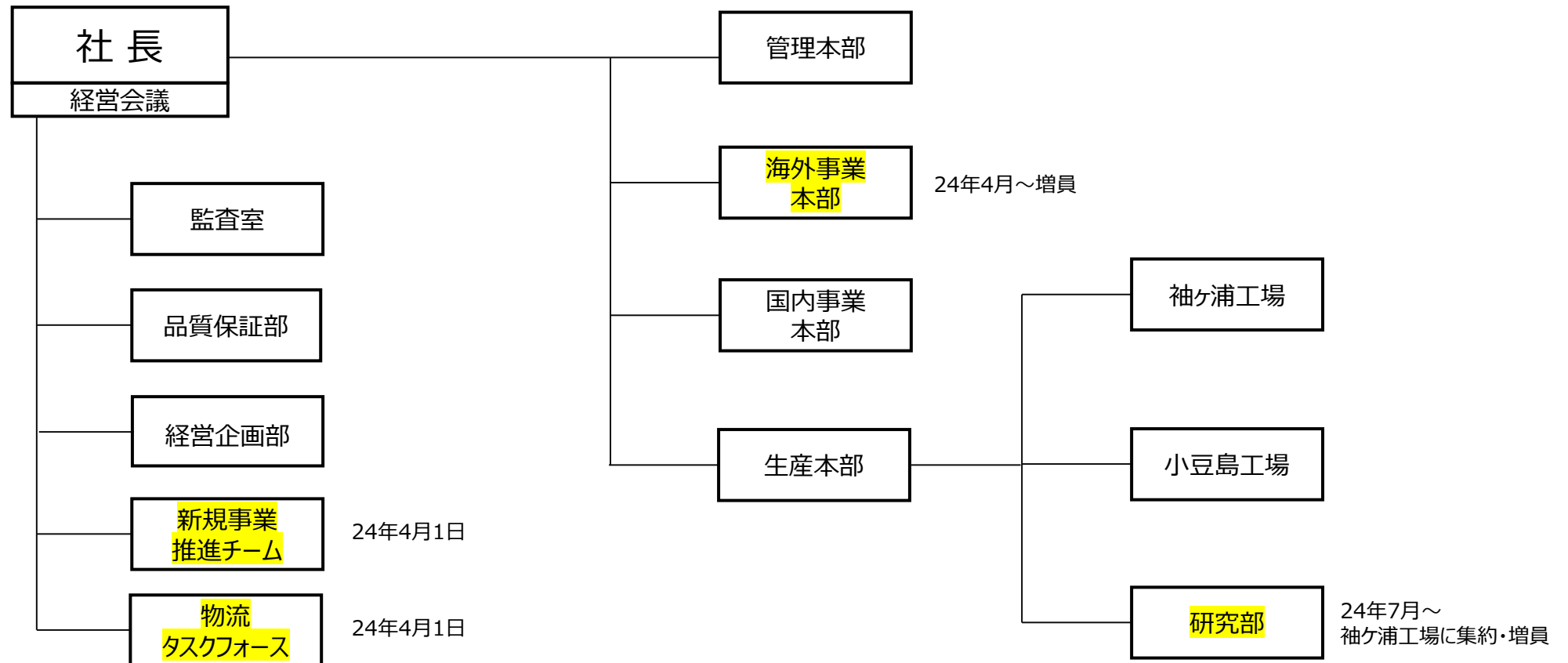
米国ごま油市場は拡大傾向



出所：Persistence Market Research

2024年11月策定 中期経営計画の取り組み状況 4/4 ～経営基盤の強化～

- 2028年に総人員数の1割程度が新規事業・R&D・海外事業領域に従事する体制の構築に向けて、社長直轄組織「新規事業推進チーム」を設置。研究部を袖ヶ浦工場内に集約・増員、海外事業本部も増員。
- 既存事業の強化においては、社長直轄組織「物流タスクフォース」を設置。
- “新しい働き方”実現に向けた人事制度の改定の検討を開始。



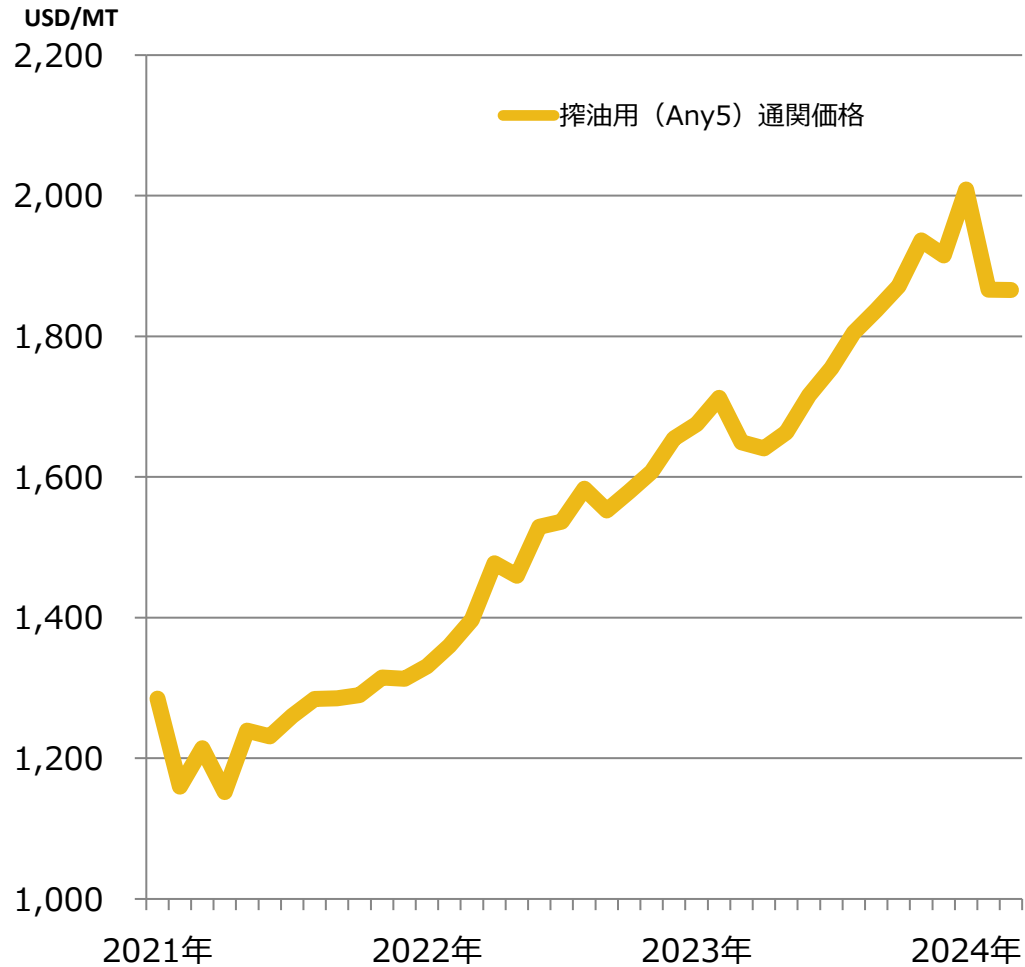
補足資料



過去5年分の要約財務諸表

		(百万円)	FY20	FY21	FY22	FY23	FY24
連 結 P / L	売上高		33,781	31,371	32,185	33,690	35,680
	売上総利益		13,066	9,147	10,163	9,712	9,781
	売上総利益率		38.6%	29.1%	31.5%	28.8%	27.4%
	営業利益		3,255	3,021	3,450	2,914	3,117
	売上営業利益率		9.6%	9.6%	10.7%	8.6%	8.7%
	経常利益		3,462	3,135	3,968	3,229	3,409
	親会社株主に帰属する当期純利益		2,552	2,101	2,769	2,219	2,255
	EPS		277.47	228.43	301.00	241.19	245.13
	1株当たりの配当(円/株)		110	85	110	100	100
	ROE		9.4%	7.4%	9.2%	6.9%	6.7%
連 結 B / S	流動資産		20,555	19,789	23,705	26,091	28,206
	固定資産		14,698	13,510	12,760	12,006	10,992
	無形固定資産		418	396	348	229	141
	投資その他の資産合計		2,683	2,616	2,546	3,163	3,330
	資産合計		38,355	36,314	39,361	41,490	42,671
	流動負債		8,272	5,166	6,148	6,603	6,071
	固定負債		2,042	2,047	2,061	2,155	2,244
	負債合計		10,315	7,213	8,210	8,759	8,316
	株主資本合計		27,197	28,288	30,277	31,494	32,832
	評価・換算差額等合計		842	812	873	1,236	1,522
	純資産合計		28,039	29,100	31,150	32,731	34,354
	負債純資産合計		38,355	36,314	39,361	41,490	42,671
連 結 C / F	税金等調整前当期純利益		3,461	3,113	3,950	3,221	3,406
	減価償却費		1,123	1,840	1,599	1,512	1,301
	営業活動によるキャッシュ・フロー		1,682	2,715	4,542	2,460	2,972
	投資活動によるキャッシュ・フロー		▲4,227	▲846	▲473	▲720	▲239
	財務活動によるキャッシュ・フロー		893	▲3,011	▲781	▲1,002	▲922
	現金及び現金同等物の期末残高		3,989	2,846	6,133	6,871	8,681

原料市況



出所：財務省輸入通関統計

- 2023年はアフリカ主要産地での天候不順による減産と地政学リスク顕在化（スーダンにおける内戦勃発／ニジェールにおけるクーデター発生／イエメンの武装組織フーシー船舶攻撃に端を発する海運各社の紅海航行回避等）によるサプライチェーン混乱もあり、原料市況は一時US\$2,000/MT超まで高騰した。
- 足元の市況はUS\$1,850/MTとやや落ち着いているが、今後収穫期を迎える東アフリカでの洪水等の天候不順や、主産地アフリカの地政学リスク等、供給タイト感是不変。一方、中国・米国等を始めとする世界需要の拡大傾向は継続しており、2024年も大幅な価格下落は想定しにくい。

かどや製油株式会社